

文 化 財

文 化 財	-----	240
彦根城博物館	-----	247
彦根城世界遺産登録	-----	252

文化財

1 平成 30 年度の目標

文化財は、彦根市の歴史や文化を理解する上で、欠くことができない市民共有の資産であり、特別史跡彦根城跡をはじめとする貴重な文化財の適切な保存と活用を図るとともに、埋蔵文化財や未指定文化財の調査を推進する。

○ 文化財保護の推進

市内に残る貴重な文化財の適切な保護を図るため、未指定文化財の調査、文化財委員会をはじめとする各委員会の開催および指定文化財の防災対策・保存修理に必要な補助を行う。

市民の文化財に対する理解を高めるため、出前講座などの啓発事業を推進する。

○ 埋蔵文化財発掘調査の推進

文化財保護法に則して、市内で行われる開発行為に対する行政指導を適切に行い、埋蔵文化財の保護を推進する。

○ 特別史跡「彦根城跡」保存整備および維持管理の推進

特別史跡彦根城跡保存活用計画に基づき、本市の文化財保護事業の核となる特別史跡彦根城跡の保存活用を進める。

また、主要な構成要素である石垣に影響のある樹木の整備を実施する。

引き続き国宝彦根城天守等の耐震診断を実施する。

彦根城跡の適切な維持管理を図るとともに、重要文化財の各櫓を適切な管理下で一般公開するなど、彦根城の価値をより多くの来訪者に公開していくよう努める。

○ 名勝玄宮楽々園保存整備事業の推進

名勝玄宮楽々園整備基本計画に基づき、玄宮園の魚躍沼護岸において保存整備工事を進める。

○ 伝統的建造物群保存の推進

彦根市河原町芹町地区重要伝統的建造物群保存事業を進める。

旧石橋家住宅の重要文化財指定に向けた取組を進める。

2 平成 29 年度の実績（主なもの）

○ 文化財保護の推進

- ①文化財委員会の開催（3回）
- ②登録有形文化財登録（2件）6棟、1基
- ③指定・登録文化財の保存修理補助（6件）および維持管理の推進、文化財パトロールの実施
- ④旧彦根藩松原下屋敷（お浜御殿）庭園の維持管理と特別公開（春、6/25、秋の計3回）
- ⑤未指定文化財調査の推進（建造物3件、歴史・民俗資料19件）
- ⑥郷土芸能への補助（3団体）
- ⑦佐和山城跡総合調査検討委員会の開催（3回）
- ⑧史跡彦根藩主井伊家墓所保存管理計画策定委員会の開催（2回）
- ⑨埋蔵文化財発掘調査の実施（本調査13件、試掘60件、立会46件、慎重工事41件）
- ⑩エフエムひこねラジオ放送（週1回）

○ 特別史跡「彦根城跡」保存整備および維持管理の推進

- ①彦根城天守耐震診断事業に着手
- ②天守・天秤櫓・西の丸三重櫓の公開
- ③楽々園保存整備（地震の間ほか）、楽々園特別公開
- ④玄宮園護岸保存整備にかかる実施設計
- ⑤彦根城跡樹木整備
- ⑥彦根城跡山道補修（大手門山道）

○ 文化財啓発の推進

- ①「彦根城学術シンポジウム 2017」『発掘・解体調査からみえてきた彦根城と文化財としての価値』の開催
- ②開国記念館展示の実施

企画展「佐和山御普請、彦根御城廻御修復－発掘・解体調査からみえてきたもの－」など

③その他展示の実施

民具展「水に関わる道具」

④現地探索講座の開催

彦根城石垣探検隊

⑤出前講座の実施（74回）

⑥刊行物の発行

シンポジウム資料「発掘・解体調査からみえてきた彦根城と文化財としての価値」、「稲部遺跡第9次発掘調査報告書」、「須川遺跡第4次発掘調査報告書」、「山之脇遺跡第1次発掘調査報告書」、「彦根市文化財年報」など

○伝統的建造物群保存の推進

①彦根市河原町芹川地区伝統的建造物群保存地区における建築基準法の制限の緩和に関する条例の制定

②重伝建地区選定1周年記念ロビー展示

③彦根市伝統的建造物群保存審議会の開催

④先進地視察の実施

(1) 埋蔵文化財調査実施例（平成29年度）主なもの

遺跡名称	時代	種類
○稲部城跡	弥生時代～古墳時代	集落跡
○藤丸遺跡	古墳時代～中世	集落跡
○道ノ下遺跡	古墳時代～中世	集落跡
○福満遺跡	縄文時代～中世	集落跡
○須川遺跡	古墳時代～中世	集落跡

(2) 彦根城入場者

年 度	彦根城・玄宮園（有料入場者数）（人）	総 計（無料含む）（人）
20年度	635,276	666,626
21年度	690,202	738,822
22年度	669,837	719,254
23年度	756,789	813,478
24年度	680,865	739,161
25年度	676,272	735,201
26年度	678,368	741,246
27年度	745,908	817,100
28年度	705,627	774,720
29年度	748,097	835,958

(3) 彦根城各施設入場料等

年 度	彦根城・玄宮園（円）	茶 室（円）	望遠鏡（円）	総 計（円）
20年度	345,881,820	12,839,000	220,905	358,941,725
21年度	379,134,980	11,548,800	201,240	390,885,020
22年度	369,471,981	9,054,460	171,315	378,697,756
23年度	413,762,007	13,795,500	157,950	427,715,457
24年度	369,965,367	12,658,000	158,895	382,782,262

25年度	369,145,811	11,711,900	150,075	381,007,786
26年度	372,387,644	12,313,100	160,065	384,860,809
27年度	403,383,260	13,962,100	188,325	417,533,685
28年度	398,489,671	12,848,100	166,590	411,504,361
29年度	640,799,956	13,249,400	153,990	654,203,346

(4) 指定文化財等一覧表

ア 指定文化財

種別		名称	員数	時代	所有者	
国指定	国宝	建造物	彦根城天守附櫓及び多聞櫓	2棟	桃山	彦根市
		絵画	紙本金地著色風俗図(彦根屏風)	6曲1隻	江戸	彦根市
	重要文化財	建造物	彦根城太鼓門及び続櫓	1棟	桃山	彦根市
			彦根城西の丸三重櫓及び続櫓	1棟	桃山	彦根市
			彦根城二の丸佐和口多聞櫓	1棟	江戸	彦根市
			彦根城天秤櫓	1棟	桃山	彦根市
			彦根城馬屋	1棟	江戸	彦根市
			千代神社本殿	1棟	江戸	千代神社
			長寿院弁才天堂 附 棟札1枚	1棟	江戸	長寿院
			有川家住宅 附 文書3冊	5棟	江戸	個人
	彫刻	木造観世音菩薩立像	1軀	平安	少林寺	
		木造阿弥陀如来坐像	1軀	鎌倉	来迎寺	
		木造日光菩薩立像・木造月光菩薩立像	2軀	鎌倉	観道寺	
		木造伝切阿坐像	1軀	鎌倉	高宮寺	
	工芸品	太刀 銘国宗(備前二代) 附 井伊直忠寄進状(1通)	1口	鎌倉	彦根市	
		太刀 銘国宗(伯耆)	1口	鎌倉	彦根市	
		我宿蒔絵硯箱	1合	室町	彦根市	
	古文書	彦根藩井伊家文書	27,800件	桃山~明治	彦根市	
	特別史跡	彦根城跡	489,933㎡	江戸	彦根市ほか	
	史跡	彦根藩主井伊家墓所	6,370㎡	江戸	清凉寺	
		荒神山古墳	15,101㎡	古墳	個人ほか	
	名勝	玄宮楽々園	28,723㎡	江戸	彦根市	
		旧彦根藩松原下屋敷(お浜御殿)庭園	20,881㎡	江戸	彦根市	
県指定	建造物	多賀大社鳥居(一の鳥居)	1基	江戸	多賀大社	
		長寿院伽藍	4棟	江戸	長寿院	
		長久寺本堂(観音堂)	1棟	江戸	長久寺	
		彦留神社社殿	1棟	江戸	彦留神社	
	彫刻	木造阿弥陀如来立像 附 像内納入品	1軀	鎌倉	宗安寺	
		木造阿弥陀如来立像 快慶作	1軀	鎌倉	圓常寺	
		木造僧形坐像	1軀	中国・唐	千手寺	
		木造僧形神坐像	1軀	平安	本隆寺	
	絵画	絹本著色他阿真教像	1幅	室町	高宮寺	
	工芸品	刺繍阿弥陀三尊来迎図	1幅	南北朝	唯稱寺	
		彦根藩井伊家伝来具足	25領	桃山~江戸	彦根市	

種 別	名 称	員 数	時 代	所 有 者
史 跡 名 勝	湖東焼窯場跡	5,880 m ²	江戸	個人
	有川氏庭園	156.205 m ²	江戸	個人
市 指 定 建 造 物	旧西郷屋敷長屋門 附 袖塀・塀及び高麗門	1 棟	江戸	最高裁判所
	旧池田屋敷長屋門	1 棟	江戸	彦根市
	旧広田家（納屋七）住宅	1 棟	江戸	個人
	旧鈴木屋敷長屋門	1 棟	江戸	彦根市
	旧彦根藩足輕組屋敷 （善利組・太田家住宅）	1 棟	江戸	個人
	旧彦根藩武家屋敷（大村家住宅） 附 塀・門及び長屋	1 棟	江戸	個人
	金亀会館	1 棟	江戸	彦根市
	旧彦根藩足輕組屋敷 （善利組・中居家住宅）	1 棟	江戸	個人
	旧彦根藩足輕組辻番所（善利組）	1 棟	江戸	彦根市
	旧彦根藩足輕組屋敷 （善利組・旧磯島家住宅）	1 棟	江戸	彦根市
	旧彦根藩足輕組屋敷 （善利組・林家住宅）	1 棟	江戸	個人
	鹿島家住宅	1 棟	江戸	個人
	旧彦根藩足輕組屋敷 （善利組・服部家住宅）	1 棟	江戸	個人
	旧彦根藩足輕組屋敷 （善利組・吉居家住宅）	1 棟	江戸	個人
	佐々木家住宅	1 棟	江戸	個人
	彦根城表御殿能舞台	1 棟	江戸	彦根市
	旧彦根藩足輕組屋敷 （中藪組・瀧谷家住宅）	1 棟	江戸	個人
	旧彦根藩水主屋敷（水主小頭・旧磯崎 家住宅） 附 土蔵・庭	1 棟	江戸	個人
	吉川家住宅 附 庭	1 棟	江戸	個人
	馬場家住宅 附 土蔵・庭	1 棟	江戸	個人
	道標「左中山道京いせ」「右彦根道」	1 基	江戸	彦根市
	旧井伊神社本殿、相の間及び拝殿	1 棟	江戸	彦根市
	旧彦根藩足輕組屋敷 （善利組・椿居家住宅）	1 棟	江戸	個人
	旧彦根藩足輕組屋敷 （善利組・北川家住宅）	1 棟	江戸	個人
	彦留神社石造宝塔	1 基	鎌倉～ 南北朝	彦留神社
	岩根家住宅	1 棟	江戸	個人
	旧彦根藩足輕組屋敷 （善利組・村山家住宅）	1 棟	江戸	個人
荒神山神社 社務所、書院及び書院 中門（旧奥山寺）附棟札1枚	3 棟	江戸	荒神山神社	
荒神山神社 遥拝殿（旧観徳殿）	1 棟	江戸	荒神山神社	

種 別	名 称	員 数	時 代	所 有 者
建造物	妙巖寺 本堂(御堂)、鐘楼堂及び太鼓楼(太鼓番屋)	3 棟	江戸	妙巖寺
	旧彦根藩足輕組屋敷(中組・旧桂田家住宅)	1 棟	江戸	個人
絵画	龍潭寺方丈絵巻 伝森川許六筆	56 面	江戸	龍潭寺
	絹本著色色阿弥陀来迎図	1 幅	鎌倉	圓常寺
	絹本著色浄土変相図	1 幅	鎌倉	唯稱寺
	絹本著色色阿弥陀来迎図	1 幅	鎌倉	善照寺
	絹本著色朝鮮高官像	1 幅	朝鮮	宗安寺
	絹本著色阿弥陀三尊来迎図	3 幅	鎌倉	高宮寺
	絹本著色伝熊野権現影向図	1 幅	南北朝	高宮寺
	絹本著色善導大師像	1 幅	室町	高宮寺
	絹本著色阿弥陀三尊像	1 幅	室町	高宮寺
	紙本金地著色秋草図屏風	6 曲 1 双	江戸	宗安寺
	井伊家歴代等肖像画	15 幅	江戸	清凉寺
	肥田城主肖像画	4 幅	桃山	崇徳寺
	紙本著色関ヶ原合戦図(木俣家本)	6 曲 1 隻	江戸	彦根市
彫刻	木造聖観音菩薩立像	1 軀	平安	慶光院
	木造阿弥陀如来坐像	1 軀	鎌倉	観音寺
	木造毘沙門天立像・木造不動明王立像	2 軀	平安	長久寺
	木造千手観音菩薩立像・脇侍 木造毘沙門天立像・木造不動明王立像	3 軀	平安・室町	千手寺
	木造聖観音菩薩立像	1 軀	平安	久留美神社
	木造十一面観音菩薩坐像	1 軀	鎌倉	延寿寺
	木造仏頭	1 箇	南北朝	延寿寺
	武悪面	1 面	桃山	個人
	天狗面	1 面	江戸	大宮神社
	木造役ノ行者倚像	1 軀	室町	北野寺
	木造阿弥陀如来立像	1 軀	鎌倉	下後三条町
	木造僧形半跏像	1 軀	平安	千手寺
	木造菩薩形坐像(寺伝 観世音菩薩)	1 軀	鎌倉	崇徳寺
	木造地藏菩薩立像	1 軀	平安	極楽寺
	木造毘沙門天立像	1 軀	平安	長光寺
	木造聖観音坐像	1 軀	平安	国昌寺
	木造釈迦・十大弟子像並びに十六羅漢・五百羅漢像	527 軀	江戸	天寧寺
	木造聖観音坐像	1 軀	平安	江国寺
工芸品	鼻高面 附 毘沙門面 1 面	2 面	室町	久留美神社
	木製半月形前卓	1 基	室町	見塔寺別院
	井伊家伝来甲冑類	60 点	桃山～江戸	彦根市
	銅造男神鏡像	1 面	平安	八幡神社
	金銅阿弥陀如来懸仏 金銅観音菩薩懸仏	2 面	室町	勝鳥神社
古文書	彦根御城下惣絵図	6 幅	江戸	彦根市

種 別	名 称	員 数	時 代	所 有 者	
市指定	古文書	中村家文書	3,484 件	江戸	個人
		宇津木三右衛門家文書	1,145 件	江戸	個人
		山田家文書	286 件	江戸	個人
		御城内御絵図	1 舗	江戸	彦根市
		木俣清左衛門家文書	559 点	安土・桃山 ～昭和	彦根市
	書 跡	紙本墨書六字名号 蓮如筆 附 同名号 2 幅	1 幅	室町	法蔵寺
	考古資料	子持勾玉 (福満遺跡出土)	1 箇	6 世紀前半	彦根市
		塔心礎 (普光寺廃寺)	1 基	7 世紀後半	廣濱神社
		翡翠大珠 (丁田遺跡出土)	1 箇	縄文中期	彦根市
		荒神山古墳出土埴輪	188 点	古墳前期	彦根市
	史 跡	山崎山城跡	16,882 m ²	安土・桃山	彦根市
		竹ヶ鼻遺跡	4,200 m ²	奈良	彦根市
	名 勝	明照寺庭園	1,144.43 m ²	江戸	明照寺
		龍潭寺庭園 (東庭)	1,021.82 m ²	江戸	龍潭寺
	天然記念物	オオトックリイチゴ	1 種	—	彦根市
		オニバス	1 種	—	彦根市
	無形民俗	小泉町幌踊り	小泉町幌踊り保存会		
小野町太鼓踊り		小野町太鼓踊り保存会			
大藪踊り		大藪踊り保存会			
高宮町かぼちゃ踊り		高宮町かぼちゃ踊り保存会			

イ 国登録有形文化財

種 別	名 称	員数	時 代	所 有 者
国登録 有形文化財	滋賀大学陵水会館	1 棟	昭和	滋賀大学
	滋賀大学経済学部講堂 (旧彦根高等商業学校講堂)	1 棟	大正	滋賀大学
	中村商家保存館 (主屋・文庫蔵・酒蔵)	3 棟	江戸～ 明治	個人
	スミス記念堂 (旧須美壽記念禮拜堂)	1 棟	昭和	NPO 法人スミス会 議
	百々家住宅主屋	1 棟	江戸	個人
	高崎家住宅主屋 (旧川原町郵便局舎)	1 棟	昭和	個人
	宇水理髪館店舗	1 棟	昭和	個人
	滋賀中央信用金庫銀座支店店舗	1 棟	大正	滋賀中央信用金庫
	秋口家住宅洋館	1 棟	大正	個人
	奥野家住宅主屋	1 棟	江戸	個人
	上野家住宅主屋	1 棟	江戸	個人
	近江鉄道鳥居本駅舎	1 棟	昭和	近江鉄道(株)
	加藤家住宅 (旧布惣、主屋・一之蔵・二 之蔵・三之蔵)	4 棟	江戸	個人
	旧日夏村役場産業組合合同庁舎	1 棟	昭和	個人
	成宮家住宅 (主屋・土蔵)	2 棟	明治	個人
旧石橋家住宅 (東主屋・中主屋・西主屋・東蔵・中蔵・ 西蔵・南蔵・南塀・庭塀・西塀・北塀)	11 棟	江戸～ 明治	彦根市	

種 別	名 称	員数	時 代	所有者
国登録 有形文化財	森家住宅主屋	1 棟	江戸	個人
	寺村家住宅主屋	1 棟	昭和	個人
	旧佐藤家住宅主屋	1 棟	昭和	個人
	不破家住宅（主屋、土蔵、門及び塀、高塀）	4 棟	江戸～昭和	個人
	若林家住宅（主屋、洋室棟、台所棟、座敷棟、茶室棟、北土蔵、南土蔵、門及び塀）	8 棟	大正～昭和	個人
	荒神山神社（本殿、拝殿、渡殿、神饌所、神楽殿、鳥居）	5 棟 1 基	明治	荒神山神社
	志賀谷家住宅主屋（本町宿）	1 棟	江戸	個人

彦根城博物館

1. 施設の概要

設置場所	彦根市金亀町1番1号		
敷地面積	16,827.18 m ²		
延床面積	4,863.30 m ²		
建物構造	本棟 鉄筋コンクリート造平屋建 一部2階 木造棟 木造平屋建 一部2階 能舞台 木造平屋建		
総工費	2,400,000千円 (総事業費2,700,000千円)		
外観復元部分	収蔵・保管部門	998 m ²	教育普及部門 211 m ²
	展示部門	809 m ²	休憩サービス部門 551 m ²
	調査・研究部門	162 m ²	その他 427 m ²
	事務管理部門	857 m ²	
	木造復元部分	御座之間棟 322 m ²	局棟 100 m ²
	奥座敷棟	188 m ²	能舞台 154 m ²
	御亭棟	84 m ²	
庭園復元部分	2,590 m ²		
開館年月日	昭和62年2月11日		

2. 展示

(1) 常設展示

「ほんもの」との出会い

井伊家から彦根市に寄贈された数多くの美術工芸品や古文書を中心に、受贈・購入・受託資料を併せて約9万1千点を数える博物館資料の中から、常時80点あまりを展示した。分野および内容による6つのテーマで構成し、年間10回の展示替えを行った。

武家の備え・・・・・・・・	甲冑・刀剣・武器	幽玄の美・・・・・・・・	能面・能装束
数寄の世界・・・・・・・・	茶道具・湖東焼	雅楽の伝統・・・・・・・・	雅楽器
風雅のたしなみ・・・・・・・・	絵画・調度品等	古文書が語る世界・・	古文書・典籍

(2) テーマ展・企画展・特別展・特別公開

展覧会名	会期	入場者数
特別公開「国宝・彦根屏風」	平成29年4月14日～5月16日	20,241人
テーマ展「煎茶－文雅清遊のいとなみ－」	平成29年5月19日～6月20日	12,818人
企画展「能面再興の立役者 近代の名工・中村直彦」	平成29年6月23日～7月25日	10,014人
テーマ展「日本刀鑑賞のスズメー井伊家伝来名刀尽ー」	平成29年7月28日～9月5日	26,008人
テーマ展「雅な遊び」	平成29年9月8日～10月11日	16,084人
2017年NHK大河ドラマ「おんな城主 直虎」 特別展 戦国！井伊直虎から直政へ	平成29年10月21日～11月28日	31,310人
テーマ展「麗しの雅楽器」	平成29年12月8日～平成30年1月8日	9,729人
テーマ展「彦根藩主井伊家の印章」	平成30年1月11日～2月6日	3,078人
特別公開「雛と雛道具」	平成30年2月9日～3月6日	6,496人
テーマ展「柳桜をこきまぜてー柳と桜のデザイナーー」	平成30年3月10日～4月10日	19,432人

3. 収集・保管

(1) 購入資料

名 称	数 量
四季耕作図 狩野永岳筆	1 件

(2) 受贈資料

名 称	数 量	寄 贈 者
雛と雛道具 ほか	3 件	西村 美恵子 氏
太公望画賛（版）「直政誌」とある ほか	2 件	前田 明 氏
錦絵「湖水蒸気船金亀丸之図」	1 件	稲田 和彦 氏
群馬図	1 件	山村 和愛 氏
井伊直亮直筆書状 ほか	2 件	個 人
日光十六善神書付（まくり）	1 件	図師 利兵衛 氏
大黒図 ほか	725 件	個 人
湖東焼 赤絵金彩龍図鉢 ほか	3 件	石田 鉄次郎 氏
花鳥図 青根竹泉筆 ほか	3 件	近藤 勲夫 氏

(3) 資料修理

名 称	数 量
重要文化財産根藩井伊家文書のうち 御城使寄合留帳 ※	4 冊
楽器のうち 箏	1 面
琵琶	1 面
能装束のうち 長絹 紫地扇面に枝垂桜と流水文様 縫箔 紅地青海波に藤扇に花熨斗夕顔文様	2 領 1 領

※は平成 28 年度および平成 29 年度に継続して修理を実施

(4) 資料貸出

11 展覧会 86 件

4. 調査・研究

- ・井伊家伝来資料を中心とする博物館資料の調査を進めた。
- ・大名道具を中心とした美術工芸品、旧藩士家・彦根藩関係文書の調査を行い、各分野の研究を進めた。
- ・井伊家伝来古文書（近代文書）の調査を平成 28 年度から同 31 年度までの 4 カ年計画で実施する。平成 29 年度は 2 年目の調査を国庫補助事業として実施した。
- ・市内を中心とした個人・寺社所蔵の美術工芸品、古文書の調査を進めた。
- ・特別展、企画展およびテーマ展開催に関わる資料の調査研究を進めた。
- ・井伊家伝来弓具の基礎調査を調査補助員とともに行った。あわせて平成 30 年度以降に開催する展覧会関連資料の調査研究を進めた。
- ・井伊家伝来刀装具の基礎調査を専門家の協力を得て行った。
- ・「彦根城博物館研究紀要」第 28 号を刊行した。
- ・彦根藩史料叢書「侍中由緒帳」16 の原稿作成・編集作業を行った。

- ・大名道具を収蔵する博物館が集まり、大名道具や大名家の歴史に関する研究発表・情報交換を行う「大名道具収蔵館研究会」の第24回研究会（平成29年11月17日、仙台市博物館、テーマ「贈答・拝領・献上」）に参加した。

5. 普及

- ・特別展シンポジウム 「井伊直虎から直政へ～遠江・近江の視点から～」 参加者数：103人
- ・テーマ展等ギャラリートーク（年間10回開催） 参加者数：延べ382人
- ・博物館講座（美術講座・入門講座） 参加者数：延べ104人
- ・博物館教室（古文書のみかた・キッズサマースクール） 参加者数：延べ416人
- ・博物館夏祭り（県内博物館等により開催する子ども向けワークショップ）
参加者数：86人（来場人数延べ2,015人）
- ・彦根城博物館だより 年4回 各8,000部発行
- ・博物館学芸員実習 平成29年8月の5日間で5大学から8人を受け入れ
- ・学校との連携
 - 職場体験 1件 参加者数：5人
 - 質問対応・見学 10件 参加者数：443人
 - 大学の講義：滋賀県立大学「博物館展示論」の講義に出講 6日 受講者数：51人
- ・講師派遣（自治体、学校、公民館、市民団体等からの依頼で講師派遣）
31件 受講者数：延べ1,603人
- ・彦根城博物館ホームページ（日本語版）<http://hikone-castle-museum.jp/>
（英語版）<http://hikone-castle-museum.jp/en/>
（中国語版簡体）<http://hikone-castle-museum.jp/cn/>
（中国語版繁体）<http://hikone-castle-museum.jp/tw/>

6. 市民との協働

（1）彦根城博物館友の会

- ・展示解説ボランティアガイド登録者数：13人 活動回数：延べ348回

（2）博物館支援スタッフ

博物館事業の運営に関わる支援スタッフを募集し、博物館職員と共に活動した。

- ・彦根城能・狂言運営事業 活動者数：延べ37人
- ・教育普及事業 活動者数：延べ28人
- ・古文書解読ボランティア 活動者数：延べ220人

7. 催物

- ・彦根城表御殿 水無月狂言の集い 平成29年6月24日 観覧者数：222人
- ・第51回彦根城能 平成29年9月2日 観覧者数：263人

8. 刊行物・印刷物

名 称	発 行 年 月
企画展図録 能面再興の立役者 近代の名工・中村直彦	平成29年6月
特別展図録 2017年NHK大河ドラマ「おんな城主 直虎」特別展 戦国！井伊直虎から直政へ	平成29年7月
彦根城博物館研究紀要 第28号	平成30年3月

9. 利用状況

(1) 彦根城博物館入館状況

(単位：人)

	一 般	小・中学生	団 体	無料 (公用等)	合 計
平成 26 年度	73,558	8,167	2,909	10,187	94,821
平成 27 年度	95,600	9,927	4,115	15,813	125,455
平成 28 年度	115,808	12,705	4,934	18,450	151,897
平成 29 年度	116,413	11,812	6,855	21,561	156,641

※臨時休館 (平成 26 年 10 月 1 日から平成 27 年 5 月 31 日)

(2) 彦根城博物館特別利用状況 (平成 29 年度)

(単位：件)

区 分	熟 覧	撮 影	合 計
利用件数	12	19	21

※1 件の申請で「熟覧」・「撮影」等を重複して申請をすることがあるため、「熟覧」・「撮影」の合計と、「合計」とは一致しない。

(3) 画像資産利用状況 (平成 29 年度)

(単位：件)

区 分	掲 載	閲覧・複写	委託業者からの 貸出※	合 計
利用件数	107	36	78	221

※平成 28 年 3 月より、画像貸出の手続きを変更し、業務の一部を外部委託化した。

(4) 彦根城博物館施設利用状況

(単位：件・人)

区 分		能舞台	木造棟	講 堂	合 計
平成 26 年度	利用件数	33	5	68	106
	利用者数	1,388	260	1,861	3,509
平成 27 年度	利用件数	48	10	126	184
	利用者数	3,223	878	3,233	7,334
平成 28 年度	利用件数	49	18	136	203
	利用者数	2,744	631	3,322	6,697
平成 29 年度	利用件数	46	14	121	181
	利用者数	2,863	617	2,665	6,145

(5) 国宝紙本金地著色風俗図（彦根屏風）商標使用状況（平成 29 年度）

（単位：件）

使用件数	18
------	----

10. 薄茶席・売店運営

(1) 薄茶席

彦根城博物館の普及活動の一環として、日本の伝統文化の体験と来館者へのサービスを提供するため、薄茶席コーナーを設けた。

(2) 売店

彦根城博物館の普及活動の一環として、彦根城博物館に関連する彦根屏風ミニチュアをはじめ、図録等の普及物品を販売した。

彦根城世界遺産登録

「彦根城」は、わが国が「世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約（通称：世界遺産条約）」を承認した平成4年に、世界遺産暫定一覧表に記載された。本市では、「彦根城」が暫定一覧表に記載されて以来、特別史跡彦根城跡等の保存整備を計画的に進め、彦根城の普遍的価値を証明するための調査などに取り組んできた。

平成19年度に市長部局（企画振興部）に推進担当職員を配置し、翌年度に彦根城世界遺産登録推進室を設置した。また、平成26年度には、調査研究を効率的に進めることを目的に、同推進室とは別に、教育委員会事務局文化財部に彦根城世界遺産登録準備室を設置した。そして、平成27年度からは、世界遺産登録業務にかかる組織を統合し、彦根市教育委員会事務局文化財部に彦根城世界遺産登録推進課を新設した。

平成29年1月からは、市の関係部局との調整を図るとともに、滋賀県と連携し、国および国際関係機関等との総合的な調整を市が一体となって進めるため、彦根城の世界遺産登録の推進に係る総合調整に関する事務を、企画振興部へ移管した。平成30年4月からは、彦根城の世界遺産登録の推進に係る総合調整に関する事務を、市長直轄組織シティプロモーション推進課へ移管した。

1 県市連絡調整会議

滋賀県と本市の担当者が、彦根城とその関連資産の世界遺産登録に向けての作業の進捗状況を確認し、その後の作業の進め方について協議する県市連絡調整会議を必要に応じて開催している。

2 学術検討委員会

学術的・専門的な見地から推薦書の内容を検討するため、平成29年度から、学識経験者による学術検討委員会を設置した。

平成29年10月23日、第1回学術検討委員会を開催し、構成資産と顕著な普遍的価値、バッファゾーンの範囲、保存管理計画や比較研究について助言を受けた。

平成30年2月1日、第2回学術検討委員会を開催し、構成資産による顕著な普遍的価値の証明方法、保存管理や比較研究の課題について助言を受けた。

3 国内外の専門家の招聘

世界遺産に関する国内外の専門家を本市に招聘し、世界遺産登録に関する最新の情報を学ぶとともに、本市の世界遺産登録に向けての作業にかかる助言や指導を受けている。

平成29年度は、エクス・マルセイユ大学のニコラ・フォシェール教授、フランス国立高等研究院東アジア文明研究センターのデルフィーヌ・ヴォムシャイド氏を招聘し、彦根城とその関連資産

を視察していただき、助言を受けた。

4 世界遺産登録に関する啓発活動

平成29年6月2日と11月26日に市民向けの世界遺産講演会を開催し、彦根城の価値や世界遺産登録に向けた取組を説明した。彦根城の世界遺産登録についての情報発信のため、学校や各種団体等に対して出前講座を実施した。また、市役所本庁舎への彦根城の世界遺産登録にかかる看板の設置、市ホームページでの情報発信に加え、彦根城とその関連資産に関する啓発冊子、啓発ポスターを作成した。